

# 設置マニュアル

Installation manual for AEG Wall-Oven. BP8314001M

設置工事は、必ず本設置マニュアルに従い確実に行ってください。本マニュアルに従わずに発生した故障、事故等に関する責任は負いかねます。本製品は200V 専用機器です。

## 危険

本機を持ち上げる際は、絶対に取っ手部分をつかまぬ。ドア取り付け部などが歪み、火傷、故障の原因となります。

## 安全上のご注意

以下に示す注意事項は人への危害、財産の損害を防止するためのものですので、必ずお守りください。図記号の詳しい説明は以下の通りです。

<h3 style="margin: 0;">警告</h3>	<p>この図記号を無視して、誤った取り扱いをする と、『人が死亡または重傷を負う可能性が想定される』 内容を示しています。</p>		<p>この図記号は、必ず実行しなければならない 『強制指示の行為』内容です。</p>
<h3 style="margin: 0;">注意</h3>	<p>この図記号を無視して、誤った取り扱いをする と、『人が傷害を負う可能性及び物的損害のみ の発生が想定される』内容を示しています。</p>		<p>この図記号は、してはいけない『禁止の行為』 内容です。</p>

## 設置上のご注意

### ⚠ 警告

- 電源は200V・20A以上の専用回路と漏電しゃ断器を必ず設けてください。また、電源プラグ(250V・20A)に合った専用コンセントを単独で使用してください。
- 電源電線及びアース線は、プラグを外して直結しないでください。漏電やショートによる感電火災の原因になります。
- 設置工事は、この設置マニュアルに従って確実に行ってください。設置が適切でない場合、漏電、火災等重大事故につながるおそれがあります。
- 電気配線工事は、電気設備技術基準等関連法令規則等に従って必ず「法的有資格者」が行なってください。
- 本製品は「法的有資格者」によるアース工事(D種接地工事)が必要です。接続、固定が不完全な場合、漏電、火災等重大事故につながる恐れがあります。
- 絶対に分解・修理・改造を行なわないでください。火災、感電、けがのおそれがあります。
- 水滴がかかる所、地下室等、湿気が大量に発生する場所には絶対に設置しないでください。絶縁不良、サビ、接触不良、漏電、感電、火災につながるおそれがあり危険です。

### ⚠ 注意

- 本機をビルトインするシステムキッチンのキャビネットは確実に固定し、設置時およびご使用時に倒れないようにしてください。故障、破損、けが、漏電のおそれがあります。
- システムキッチンにビルトインする際、機器の接触部分の保護を行ってください。
- キャビネット背面の放熱スペース(A項参照)の指定位置にアース付きコンセントを設けてください。アース工事の内容については警告欄を参照ください。

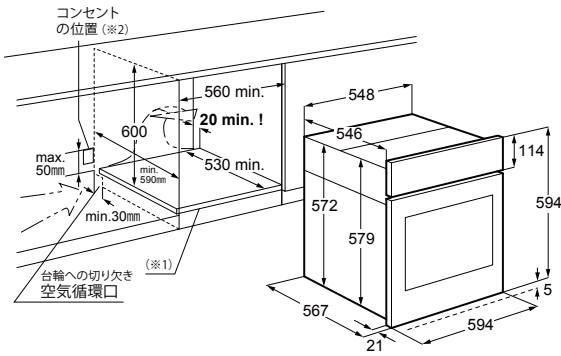
設置前の準備

**A**

- ❶ コンセントは必ず手の届く場所に設置してください。
- ❷ 必ず「設置上のご注意」をよく読み、適切な設置を行ってください。

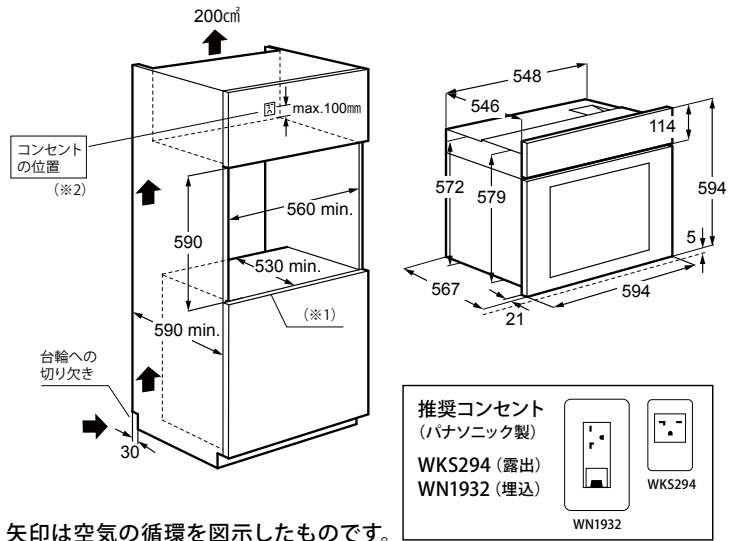
コンセントの位置と放熱スペースについて

カウンター下に設置する場合



- ⚠ **注意** オープンのコントロールパネルの上はすき間を作り、循環口をふさがないようにしてください。
- ⚠ **注意** IHクッキングヒーターとのコンビネーションを検討されている場合は必ず本マニュアルのC項をご確認ください。

トールキャビネットに設置する場合



矢印は空気の循環を図示したものです。



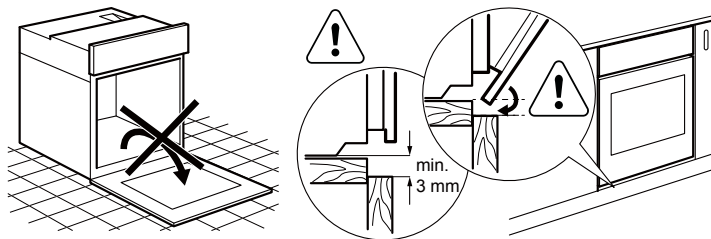
- ⚠ **警告** 必ず外気を取り込み、冷気が循環するように切り欠きと背面に通気スペースを設けてください。
- ⚠ **注意**
  - 必ず背面に20mm以上のすき間を設け、熱気が外部へ流れるように設計してください。
  - 使用するキャビネット・接着剤・仕上げは最低95℃の耐熱性が必要です。

【※1】オープン扉は開閉時に下へ3mm程沈みこみます。寸法にご注意ください。  
 【※2】本機の真裏にコンセント及びプラグを据え付けますと、故障、火災など重大事故の原因となり危険です。

製品の取扱いについて

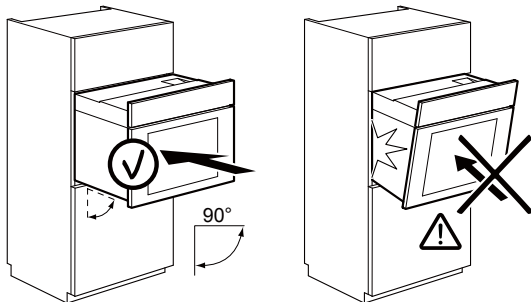
**B**

本機の取扱いについて



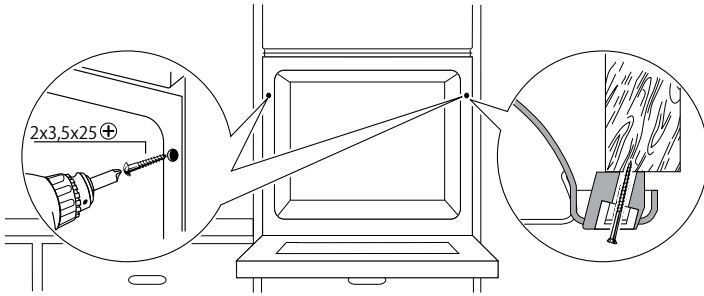
- ⊘ 本機を床に置いたまま扉の開閉をしない。
- ❶ オープン扉は左図のように開閉時下におよそ3mm程沈み込みます。設置の際は扉下に3mm以上のスペースを必ず設けてください。

本機の据えつけの際の注意事項



- ❶ 本機をキャビネットに据え付ける際、必ずキャビネットが水平であることを確認してください。
- ❷ 必ず本体を水平にし、キャビネットの奥まで押し込んでください。斜めに押し込んでしまうと、本体のゆがみ、破損の恐れがあります。
- ⚠ **警告** 本体とキャビネット間でコードを挟んでしまうと、断線、故障、火災の恐れがあります。

## キャビネットへの固定



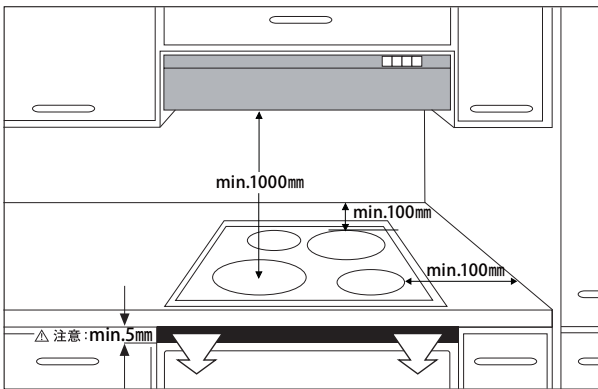
- ①必ず付属のネジを用いて本体の固定を行ってください。  
ネジによる固定がされていない場合、落下、熱気漏れ、破損の原因となります。  
ネジはそれぞれ外側に向かって斜めに入るように設計されています。過度の締めつけは、本機およびキャビネットの破損につながりますので、注意してトルクドライバー、または手で締めてください。

## AEG IH クッキングヒーターとの組み合わせについて

C

### ビルトインの詳細図（開口寸法）

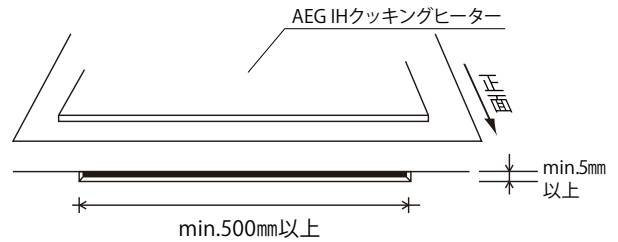
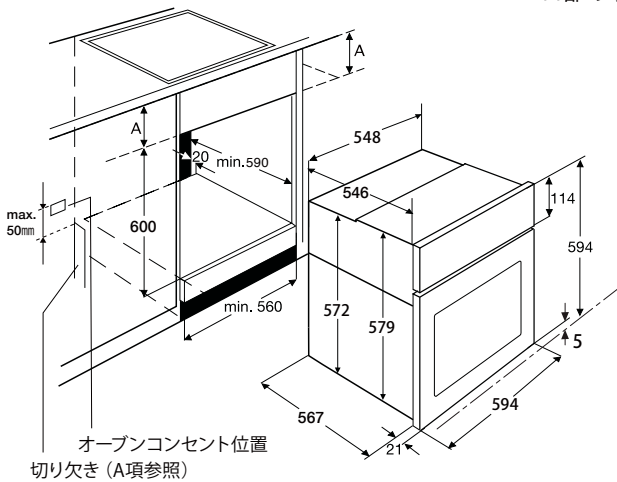
#### ・AEG IH クッキングヒーターの施工上の注意点



- ① 上方向1000mm以上、ヒーターから壁まで100mm以上の隔離距離を設けてください。  
② AEG IHクッキングヒーターの外周は、各機器ごとに異なります。必ず各外形寸法図をご確認ください。

#### ・AEG IHクッキングヒーターと組合せる場合

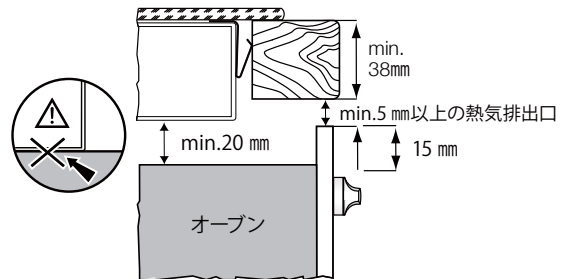
※ A部の寸法は右の図を参照



#### 正面に排気口を設けます。

- 必ず上の図のようにW500×H5 (mm) 以上の開口部（熱気排出口）を確保してください。  
※必ず機器本体の排熱を、キッチン外部へ排出できるような構造にしてください。また、熱気排出口については、トッププレートを除く、AEG IHクッキングヒーター本体の前面側中心軸を基準に位置を決めてください。

#### A. 拡大断面図



- ⚠ 注意 IHとオープンとは必ず20mm以上離してください。故障などの原因となります。

※上記組み合わせは AEG IH クッキングヒーターにのみ適用されます。

他社製 IH クッキングヒーターとの組み合わせに関しては一切の保証を致しかねます。

あらかじめご理解、ご了承をお願い申し上げます。

**⚠ 警告** 臭いや煙が発生する事がありますので、必ず十分に換気を行ってください。

**本機設置後には必ず試運転を実施してください。**

これは初めてご使用になられる際に発生するヒーターからの臭いや油を取り除く為に必要な作業です。これは庫内に付着している油などが加熱されることにより焼かれる為であり、故障ではありません。取扱い方法を含め、ご使用者さまに必ず事前説明を行ってください。

**以下の点を試運転の前に必ずご確認ください。**

※本機は200Vを使用します。100Vでは正常に動作しません。

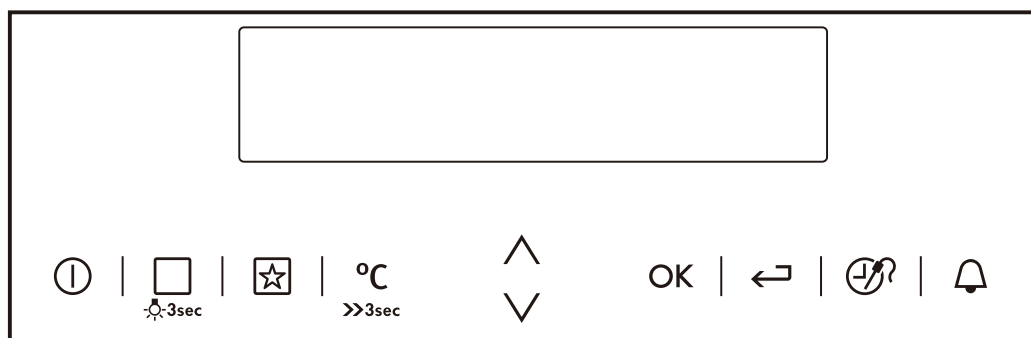
- 電源は200V・20A、専用回路に漏電遮断器が設置されているか
- アース接続を適切に行っているか
- ドアがキャビネットなどに当たっていないか（加熱時などにガラスが割れる可能性があります。）
- 本機を当設置マニュアルの指定どおりにキャビネットに固定しているか

### －試運転、空焼きの方法－

※同梱物を全て取り出し、庫内を空にして水拭きをしてください。

※最初に時計の設定を行ってください。（電源プラグを差し込みますと液晶パネルに時刻が点滅します。⌵または⌶にタッチして設定をします。また、本機取扱説明書“時間の設定と変更”を参照ください。）

設定が完了しないと試運転及び空焼きが行えません。



1. Ⓜマークにタッチして電源を入れます。Ⓜ Heating Functions が表示されます。
2. OKにタッチし、⌵または⌶にタッチして (⌵) True Fan Cooking または (⌶) Turbo Grilling を選択し、OKにタッチして確定します。(約5秒後に加熱が始まります。)
3. ⌵にタッチして、設定出来る最大温度(300°C)にし、設定温度を確定します。⌵マークを一度押し⌵にタッチして設定時間を1時間にし、OKを2回押し設定時間を確定させます。
4. これでオープン庫内の空焼き運転が開始されます。(推奨動作時間は約1時間です。)
5. 空焼き運転後、庫内が室温まで下がってから、もう一度庫内を水拭きします。加熱後すぐに手を入れますとやけど等の危険がありますので、絶対におやめ下さい。